

そうだ！技術士になろう！

# 「第4回わたしのコンピテンシー発表会」

～～資質能力向上プロジェクト～～

＊＊ 発表者 募集のお知らせ ＊＊

技術の高度化、統合化等に伴い、技術者に求められる資質能力はますます高度化、多様化しています。

技術士第一次試験合格者、JABBE 課程修了者、一般技術者、大学生などの「技術士をめざす」技術者を対象に、修習技術者の発表や、参加者・既技術士の考察・交流を通じて「技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）」を向上させる場として「第4回わたしのコンピテンシー発表会」を開催いたします。

つきましては、下記の要領で発表者を募集いたしますので、みなさまの応募を心よりお待ちしております。

## 記

主催：公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 修習技術者支援委員会

日時：令和4年11月19日（土）13:00～17:00

場所：公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 会議室（Web 参加可）

対象：・技術士補、技術士第一次試験合格者、JABBE 課程修了者

・技術士を目指す方、一般技術者

・技術士制度にご興味がある方

※ 企業・大学技術士会の会員の方も歓迎いたします。

## 募集内容：

★ 修習技術者等発表者 5 名を予定（発表：20 分／一人、質疑：10 分／一人）

★ 発表のテーマ（できるだけ以下のキーワードを想定して作成願います）

**専門的学識、問題解決、マネジメント、評価、コミュニケーション、リーダーシップ、  
技術者倫理 継続研さん**

※口頭試験では、実務能力として、「コミュニケーション」、「リーダーシップ」が、適格性として、

「技術者倫理」、「継続研さん」が判定されると技術士第二次試験実施大綱で案内されています。

※発表の後に講評があります。（スキルアップの参考になると思います。）

※発表内容に企業保有の技術関連が含まれる場合は、事前に企業の承諾を得てください。

（技術や事業の内容の善し悪しが評価の対象ではありません。）

※技術士になって能力を発揮する為にもコミュニケーション力は必要です。

※発表のテーマ（コンピテンシー）解説については別紙資料をご参照ください。

※発表は専門的学識以外に複数のテーマについても過去の経験を掘り下げて行ってください。

● エントリーシート ：別添シートをご利用下さい。

● エントリー締切り ：令和4年 9月20日（火）

● パワーポイント締切り：令和4年11月11日（金）

● 申込み・問い合わせ先：

公益社団法人日本技術士会近畿本部 事務局 まで

電話：06-6444-3722 e-mail：[pe@ipej-knk.jp](mailto:pe@ipej-knk.jp)

特別講演：弦牧篤技術士（金属/総合技術監理）

演題：コンピテンシー開発に求められるあつかましさ

以上

## 技術士に求められる資質能力(コンピテンシー)

別紙 2

平成 26 年 3 月 7 日  
科学技術・学術審議会  
技術士分科会

技術の高度化、統合化等に伴い、技術者に求められる資質能力はますます高度化、多様化している。

これらの者が業務を履行するために、技術ごとの専門的な業務の性格・内容、業務上の立場は様々であるものの、(遅くとも)35 歳程度の技術者が、技術士資格の取得を通じて、実務経験に基づく専門的学識及び高等の専門的応用能力を有し、かつ、豊かな創造性を持って複合的な問題を明確にして解決できる技術者(技術士)として活躍することが期待される。

このたび、技術士に求められる資質能力(コンピテンシー)について、国際エンジニアリング連合(IEA)の「専門職としての知識・能力」(プロフェッショナル・コンピテンシー、PC)を踏まえながら、以下の通り、キーワードを挙げて示す。これらは、別の表現で言えば、技術士であれば最低限備えるべき資質能力である。

技術士はこれらの資質能力をもとに、今後、業務履行上必要な知見を深め、技術を修得し資質向上を図るように、十分な継続研さん(CPD)を行うことが求められる。

### 専門的学識

- 技術士が専門とする技術分野(技術部門)の業務に必要な、技術部門全般にわたる専門知識及び選択科目に関する専門知識を理解し応用すること。
- 技術士の業務に必要な、我が国固有の法令等の制度及び社会・自然条件等に関する専門知識を理解し応用すること。

### 問題解決

- 業務遂行上直面する複合的な問題に対して、これらの内容を明確にし、調査し、これらの背景に潜在する問題発生要因や制約要因を抽出し分析すること。
- 複合的な問題に関して、相反する要求事項(必要性、機能性、技術的実現性、安全性、経済性等)、それらによって及ぼされる影響の重要度を考慮した上で、複数の選択肢を提起し、これらを踏まえた解決策を合理的に提案し、又は改善すること。

### マネジメント

- 業務の計画・実行・検証・是正(変更)等の過程において、品質、コスト、納期及び生産性とリスク対応に関する要求事項、又は成果物(製品、システム、施設、プロジェクト、サービス等)に係る要求事項の特性(必要性、機能性、技術的実現性、安全性、

経済性等)を満たすことを目的として、人員・設備・金銭・情報等の資源を配分すること。

## 評価

- 業務遂行上の各段階における結果、最終的に得られる成果やその波及効果を評価し、次段階や別の業務の改善に資すること。

## コミュニケーション

- 業務履行上、口頭や文書等の方法を通じて、雇用者、上司や同僚、クライアントやユーザー等多様な関係者との間で、明確かつ効果的な意思疎通を行うこと。
- 海外における業務に携わる際は、一定の語学力による業務上必要な意思疎通に加え、現地の社会的文化的多様性を理解し関係者との間で可能な限り協調すること。

## リーダーシップ

- 業務遂行にあたり、明確なデザインと現場感覚を持ち、多様な関係者の利害等を調整し取りまとめることに努めること。
- 海外における業務に携わる際は、多様な価値観や能力を有する現地関係者とともに、プロジェクト等の事業や業務の遂行に努めること。

## 技術者倫理

- 業務遂行にあたり、公衆の安全、健康及び福利を最優先に考慮した上で、社会、文化及び環境に対する影響を予見し、地球環境の保全等、次世代に渡る社会の持続性の確保に努め、技術士としての使命、社会的地位及び職責を自覚し、倫理的に行動すること。
- 業務履行上、関係法令等の制度が求めている事項を遵守すること。
- 業務履行上行う決定に際して、自らの業務及び責任の範囲を明確にし、これらの責任を負うこと。

## 継続研さん

- 業務遂行上必要な知見を深め、技術を修得し資質向上を図るように、十分な継続研さん(CPD)を行うこと。

# 第4回わたしのコンピテンシー発表会

## ★ 発表応募 エントリーシート ★

日付：令和4年 月 日

氏 名	
勤 務 先	
郵便番号 住所	〒
TEL / FAX	TEL : FAX :
メールアドレス	
略 歴 (和文200字程度)	
発表タイトル	
要 旨 (論題紹介) (和文400字程度)	

申 込 期 限 : 2022年9月10日(火)

パワーポイント提出期限 : 2022年11月11日(金)

【申込先】

公益社団法人日本技術士会近畿本部 事務局 まで

電話：06-6444-3722

e-mail：[pe@ipej-knk.jp](mailto:pe@ipej-knk.jp)